

# 『時事直言』 No.1628 2023年10月10日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

## 邪魔者(ハマス)は消される！

中国の仲介で、アメリカの同盟国のサウジアラビアとイスラエルとアメリカの敵のイランが国交回復した。サウジアラビアはアメリカの仲介でハマス(パレスチナ)の敵であるイスラエルと国交回復の準備を進めている。

サウジは、イスラエルとパレスチナの紛争問題が解決しないとイスラエルと国交正常化は出来ないという従来の方針を無視してイスラエルと交渉を続けている。

10月7日のハマスの対イスラエル大規模ミサイル攻撃は、明らかにサウジ・イスラエル国交回復阻止を目的としたものである。

イランは国交回復したサウジの同盟国アメリカと一心同体のイスラエルに対するハマスの軍事攻撃を今までのように支持するとサウジとの関係が悪化する。

だからイランのハマス(パレスチナ)に対する支援は限定的にならざるを得ない。

ハマスを焦らせたのはパレスチナを無視してイスラエルと国交回復をしようとしているサウジとパレスチナに対する従来と態度が変わったイランである。

UAE(アラブ首長国連邦)、バーレン等中東産油国は次々とイスラエルと国交回復している。

今までのアラブ対イスラエルの構図は終わりを告げようとしている。

アラブを代表してイスラエルと戦い続けて来たパレスチナ(ハマス)は無用の長物！お払い箱になる。

イスラエルを先制攻撃したハマスは残忍なテロリストとして世界に認定されイスラエルの対パレスチナ報復攻撃は正当化される。

イスラエルはハマスを壊滅するまで報復攻撃を続けるだろう。

ではパレスチナ人はどうする。

サウジから一世帯1万ドルをもらって隣国ヨルダンに移動することになる。

今頃ハマスは「してやられた」と怒り心頭だろう。

「自業自得」である。

中東の新しい秩序が目前である。

### 本日より発送開始！増田俊男の小冊子 Vol.136

#### 『今こそ本当のアメリカを知る時』

現在増田俊男の小冊子 Vol.136 は大好評受付中です。内容は、\*アメリカは国ではなく「場」である。\*アメリカはユダヤ資本の「資本増殖の場」\*ドル覇権が衰退すると民主主義が後退する！\*国際金融システム(カネの流れ方)のリセットとは\*何処へ行くのか日本\*変動期にどうすれば不労所得を増やせるかなどです。価格は、1冊4,800円(税・送料別)。

詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。